

第54回教誨師中央研修会

- 1 実施年月日 令和元年9月3日(火)～5日(木)
- 2 会場 法務省地下棟大会議室
- 3 参加者 教誨師 73名 矯正施設関係者 1名 その他 34名
計 108名

- 4 講演
法務省矯正局長 名執雅子氏
「矯正行政の現状と課題
—教誨師に期待すること—」
フレイ法律事務所
弁護士 梶木壽氏
「教誨師に期待すること」

- 5 講義
川越少年刑務所所属
教誨師 嵩海史
府中刑務所所属
教誨師 油谷弘幸
「教誨師とは」

- 6 分科会
「教誨師に願われていること」
(10グループでの班別討議)

5 研修成果

本研修会は、教誨師として委嘱されてから5年未満の者、教誨師中央研修会に参加経験のない新任教誨師を対象として実施した。

矯正局長による基調講演では、矯正行政の現状や課題について分かりやすく話をしていただけ、教誨師がどのように関わられるのかを学ぶとともにじっくりと考える有意義な機会となった。

講義では、「教誨とは」という講義題で、実際に教誨活動を行って学んだことや、経験したことなどを題材とした内容の講義が行われた。



記念講演では、外部の人たちが教誨師に対して期待していることや取組むべき事柄などについて話をしていただいた。加えて「教誨師に出会って人生を見直し、澄んだ、平穏な心を取り戻すことができる。宗教の力、信仰の力が人間の根本に大きな影響を与える。」と語っていただき、大変参考になった。



班別討議では、「教誨師として願われていること」、をテーマとして、自由に討議を行った。教誨活動を通して悩んだこと、難しさを感じたこと等にどう対処すれば良いのかななどを討議・発表をすることで、課題や悩みを共有し、これまでの教誨活動を振り返り、今後の教誨の在り方を考える貴重な時間とすることができた。

